

やさかだよい 11 No. 112

八坂地域づくり協議会

<https://www.shinshu-yasaka.com>

2025年(令和7年)11月1日

11月号の記事

協議会、地域の活動から…2

日赤八坂支部講習会 …3

八坂小中学校 …4

たけのこ保育園 …5

山留の風、八坂公民館 …6

八坂公民館 …7

話題の八坂人 …8



勝野行雄さん(88) 小林岩子さん(90) 諏訪義十さん(100) 深澤敬勝さん(88) 勝野久子さん(88)

※年齢は令和7年3月31日現在

八坂地区敬老会開催「いつまでもお元気で」



9月26日(木)八坂地区敬老会実行委員会主催の八坂地区敬老会が明日香荘で開催されました。対象者168名のうち44名の方に出席していただきました。当日は牛越市長をはじめとする来賓をお迎えし、諏訪義十さんの百歳、小林岩子さんの90歳、3名の方の米寿のお祝いをしていただきました。たけのこ保育園の園児のお遊戯や、八坂小中学校の生徒さんの迫力ある合唱を披露いただき、出席されたみなさんも楽しんでいただきました。また「八坂 食を楽しむ会」(代表北澤三恵子さん)が前日より準備していただいた赤飯と明日香荘のお弁当で楽しい会食となりました。

八坂地区の人口: 676人(男 343人・女333人) 八坂地区の世帯: 342 世帯(令和7年10月1日現在)

地域づくり協議会の活動から

期日	区 分	内 容 等
9/16	やさかだより編集会議	・9月号記事の内容について
10/4	日赤八坂支部防災講習会	・能登半島地震・豪雨災害から考える
10/4	大北公民館大会	・八坂公民館
10/16	八坂秋まつり実行委員会	・八坂秋まつりの開催内容について
10/25	八坂秋まつり・八坂地区文化祭	・タイムカプセル開封式・八坂秋まつり
10/26	八坂地区文化祭	・八坂地区文化祭実行委員会

地域の活動から～切久保自治振興会、中央自治振興会

切久保自治振興会ではコロナ下で見送っていたバス旅行を7年ぶりに実施。10月11(土)に諏訪方面に出かけました。あいにく天気は時折小雨の降る中でしたが、原田泰治美術館で芸術に触れて目と心の保養、諏訪湖ではスワン船で湖上を渡る風を肌で感じ、お昼はランチ懐石と「お飲み物」を堪能、お腹が満たされた後はお土産を品定めして、御柱祭りの展示館にて模擬御柱に乗ってはしゃぎ、万治の石仏では作法どおりのお参りで満願成就を願い、旅行の締めは諏訪大社春宮参拝と、諏訪のあれこれを目いっぱい詰め込んだ濃い内容の旅行でした。

7年ぶりのバス旅行



ここ数年、振興会内でも交流の機会がめっきり減っていたところでしたが、バスの中でも訪問先でも宴会場でもワイワイガヤガヤと賑やかに、みなさん楽しい時間を過ごせたのではないのでしょうか。これからも協力し合って過ごしやすい地域を作っていきたいと思います。



一ノ瀬地区で9月7日(日)に無事秋祭りが開催され、日々地域の皆さんが健康に幸せに過ごせられることの感謝を氏神様にお伝えしました。

中央自治振興会

遠藤由章



日赤奉仕団八坂分団 防災講習会

「能登半島地震・豪雨災害から考える～私たちにできること～」 10/4(土)八坂支所3階集会室



10月4日(土)八坂支所で、日赤奉仕団八坂分団員や各地区自主防災会長など25名の皆様に参加いただき、日赤奉仕団八坂分団主催の防災講習「能登半島地震・豪雨災害から考える～私たちにできること～」を開催しました。

講師の大久保隆志さんは、日本防災士会長野県支部支部長、大町市自主防災連絡会防災士専門部会長を務めるとともに、能登半島地震をはじめ、多くの災害現場でボランティア活動や支援活動を行っており、実際の体験談などを通してお話を分かりやすくしていただきました。



講習内容のひとつを紹介します。能登半島地震の公共施設や避難所の多くのトイレでは、排泄物が山盛りに放置されるなど、給水や排水、電力等が機能しない場合、多くの災害においてトイレが問題となるそうです。トイレが安心して使えないと、トイレに行く回数を減らすために水を飲まなくなり、脱水症状や熱中症、高齢者は誤嚥性肺炎や持病の悪化など健康に悪影響を及ぼし、講師からは、日常に近い状態で排泄できる「携帯トイレ」の紹介がありました。「携帯トイレ」とは、便器に設置して使用する袋式のトイレで、袋の中に排泄し、吸収シートや凝固剤で大小便を吸収・凝固させるものです。排泄後の袋は1回収めとして、ごみとして廃棄していきますので、非常に衛生的です。ぜひ、皆さんも携帯トイレを備えましょう。

地域支え合い事業

「おでかけサロン」切久保、野平で開催

10月6日(月)、切久保公民館で、文化祭に向けて苔玉づくりを行うとお聞きし、おでかけサロンとして伺わせていただき苔玉づくりの後は折り紙を折りながら歓談しました。

また8日(水)には野平にもお邪魔し、苔玉づくりを行いました。



「こころにひびけ ハ坂シンフォニー」 皆がひとつになった音楽会



「こころにひびけ ハ坂シンフォニー」のスローガンのもと、音楽会が開催されました。たけのこ保育園の皆様にも参加いただき、また、最後の「ふるさと」は、地域や保護者の皆様にも一緒に歌っていただきました。

保護者の方より「感動でした。どの学年もみんなが一生懸命に音楽と向き合っていたと思います。日ごろから指導頂きありがとうございます。『ハ坂小中学校で過ごすことができて本当に良かった。』と改めて思いました。」という感想をいただきました。地域の皆様には、あたたかい拍手をありがとうございます。



1日やさか DAY 2



やまびこ祭の開催



8月29日（金）7月に行うことができなかった野外活動を中心に、「1日やさか DAY2」が実施されました。クマの出没が心配されましたが、地域の皆様のご協力をいただき、安全に配慮しながら外での体験を大切に、子どもたちは自然の中の学びを深めることができました。

一方、校内で活動しているグループは、翌日に控えた「ハカリウリマルシェ」の準備に熱心に取り組みました。商品の準備や販売計画の確認など、自分たちで考え主体的に動く姿が印象的な1日となりました。



9月26日（金）第49回学習総合発表会「やまびこ祭」が行われました。後期課程の30名の生徒たちは、「LOVE&LOVE」に共に創ろうオンラインファンをスローガンに掲げ、協力しながら各発表やステージを創り上げました。生徒会長からは、「この学校で一人ひとりが欠かせない存在（LOVE）として活躍してほしい」という願いが込められており、その思いを受けて全員が力を合わせて取り組みました。互いを尊重し、支え合う姿勢が随所に見られ、生徒たちの成長を感じられる素晴らしい発表となりました。



たけのこ保育園

新しく、きれいなウツドデッキに変わりました。子どもたちも、きれいなウツドデッキを見て大喜びでした。座り心地もよくゆったりと座ったり、寝転んで遊んでいます。

ウツドデッキ
修繕しました

畑の野菜を収穫



猿や、鹿に食べられそうになりましたが、にんじん、サツマイモ、かぶ、かぼちゃ色々な野菜がいっぱい収穫できました。バスの添乗員（横澤さん）と一緒に収穫しました。



大好評！

八坂地区敬老会でおゆうぎを披露

10月2日（木）に秋の遠足に出かけました。午前中は、しばらく保育園まで行き、木崎湖を見たり、しらかば保育園の園児と一緒に遊び、午後は、山岳博物館へ行きました。お天気もよく、付属動物園の雷鳥や、館内の展示物を見て過ごしました。

秋の遠足に出かけました



稲刈り 9月15日(月)

センター前の棚田が黄金色に色づき始めたこの日、稲刈りを行いました。田起こしから約5カ月、代掻きや田植えなどの作業を経て、今年も無事に稲刈りの日を迎えることができました。センターでは作業の大変さや感謝の気持ちを感ぜてもらうため、手作業で行います。まずペアで鎌を使い、稲を刈り取ります。初めて手刈りをする子は「難しい…」と苦戦していました。慣れてくるとまっすぐ切れるようになっていきました。「あとちょっと、頑張ろうー」とお互いを励まし合い、作業に取り組んでいました。ある程度束が出来たら、前日の夜に練習した中学生が中心となって結束をしました。束がほどけないようにきつく結ばなくてはならないため、「また結び直すの？」と何回もやり直している子もいました。最後に稲架掛けを行います。稲を逆さにし、太陽の力を借りて干すことで、さらにおいしくなるそうです。こうして稲の束を稲架棒にきれいに敷き詰めていきます。すべての作業が終了するころにはお昼を過ぎており、「もう疲れた…」とヘトヘトに。ここから稲を2〜3週間ほど乾燥させ脱穀します。子供たちは自分たちが刈り取ったお米を食べるのを楽しみにしています。



八坂公民館から

大北公民館大会、開催



第56回大北公民館大会
10月4日(土)に大北地区の公民館関係者を集め、第56回大北公民館大会が八坂公民館で開催されました。

この大会は、大北地区の10公民館が毎年持ち回りで開催しており、10年振りに八坂公民館での開催となり、企画と会場の提供をいたしました。

記念講演では、八坂で発祥した山村留学が50年を迎え、公益財団法人育てる会代表理事の青木厚志さんから、山村留学の歴史とあり方についてお話をいただきました。

分科会では、世界で活躍する塩の貝の布施知子さんから折紙を教わり、参加者からは貴重な体験ができたことと喜ばれました。もう一つの分科会は、藤尾覚音寺を訪ねる国重要文化財の千手観音像などを見学し、興儀和尚さんから覚音寺と観音像の建造された理由や歴史について説明されました。

今回の大会を通じて、各地域や公民館で、地域づくり、人づくりに役立ていただければ幸いです。

高砂大学「郷土視察」



10月9日(木)に高砂大学「郷土視察」を行い、南牧村の国立天文台野辺山宇宙電波観測所、山梨県北杜市のサントリー白州蒸留所などを参加者31人で尋ねました。

国立天文台野辺山宇宙電波観測所では、約100台の電波望遠鏡などを使い宇宙の観測や太陽の観測を行っておりです。中でも直径45mの電波望遠鏡は、世界最大級でブラックホールの発見など日夜宇宙観測に寄与し、圧巻のたたくまいでした。

サントリー白州蒸留所は、ウイスキー白州のテイステイングや南アルプス天然水工場見学などができますが、今回はウイスキー博物館やセントラルハウスの見学をしました。サントリー大町工場よりもさらに広大な敷地にたくさんの工場や見学場所があり、訪れた見学者を魅了していました。

天候にも恵まれ、有意義な1日を楽しみました。

きらり話題の八坂人

泉水久乃さん

八坂の皆さん、よろしくお願いします。



八坂の皆さま、こんにちは！
大町市役所企画財政課の泉水久乃（せんすいひさの）と申します。
平成31年4月、さいたま市から大町市へ移住しました。私と大町との縁の中心に、八坂の存在があることから、今回こちらに登場する機会をいただきました。
遡ること20年、当時小学生の私は、山留生として2年間、八坂でお世話になっていました。1年目は曾山の諏訪さん、2年目は相川の縣さんのところで面倒を見ていただき、本当にのびのびと充実した日々を過ごさせてもらいました。

修園後は、親が棚田の会で頻繁に通っていたこともあり、八坂は変わらず身近な存在でした。関係の皆さまには、親子共々本当にお世話になっており、この場をお借りして感謝申し上げます。

さて、移住の直接的なきっかけは、大町市の成人式に出席したことだったのですが、会うのは小学生ぶりだったにもかかわらず、誰もがとてもナチュラルに受け入れてくれたことに、不思議な居心地の良さを感じたことを覚えています。

夜にはみんなでまねきねこに行き、歌って話して楽しみました。明け方外に出ると、なんとも形容し難いのですが、大町のひんやりとした「きれいな」空気に触れ、「こんな場所ですきなられたら素敵だな」と思いました。

就活を始めていた当時、親から「どんな暮らしをしたいかを起点に考えても良いのでは」と言われていたことを思い出し、「ならここで暮らしたい！」と思い立ったのでした。

大町に来てからも、仕事でも私生活でも素敵な方々との縁に恵まれ、昨年には大町出身の方と結婚し、充実した日々を送っています。

最近では、お仕事で八坂の皆さまにお世話になることも多く、ご協力いただいている皆さま、本当にありがとうございます。きっとこれから、どこかでお会いすることもあるかと思いますが、そのときはどうぞよろしくお願いいたします！

編集後記

今年は昨年にも増してクマ出没のニュースが飛び交っています。思い返せば私の昨年の編集後記もクマ出没の話題でした。北海道のヒグマ、本州のツキノワグマどちらも人を恐れず人家の周辺にまで出没、人的被害も多数。

八坂でも6月に死亡事故が発生。今日の新聞では温泉郷のホテルでドラングリを食べていたという記事が。そういえば今年の夏、近辺の山中では未熟の青いドラングリが大量に落ちていたのを目撃しました。犯人は「ハイロチョッキリ」という名の虫。若いドラングリに卵を産み付け、葉っぱと共にドラングリを地面に切り落とします。虫の仕業で山のドラングリも凶作か。野生とどう向き合っていくべきか思案のしどころです。

切久保自治振興会

立花 康一